

# 静寂な高鳴り

～平清水焼きから広がる世界～

## 陶芸の里平清水

## 豊かな自然

山形県山形市市街地の東部にある千歳山の麓にあるのが「平清水」と呼ばれる地域である。「陶芸の里」として知られているため平清水焼きを目的に県外から訪れる人が多い。平清水焼きは古くからの伝統品で、始まりは千歳山から土が出たことであるという。この土は鉄分を多く含んでいるため、出来上がったときに黒い斑点模様は個性的で他の陶芸品にはない特徴であるということが好まれ続け有名になり、長い間受け継がれている。日常的にも使いやすく贈り物にも人気がある。明治中期の最盛期には30軒を超える窯元も今では高齢化が進むにつれ後継者が減り残っているのは3軒ほどだ。

山の近くということもあり、自然が豊かなため森林浴を楽しむためにも人が来るようだ。私の一歩のおすすめは大日堂へ進む細い道である。その道脇には竹林があり、他の世界に入りこんだかと思うほど静かである。伝統を感じ竹からのエネルギーを吸収できる密かなパワースポットだ。他にも探していくときっと素敵な場所を見つめることができるだろう。そんな宝箱のような地域に一度足を運んでみて魅力に気づいてくれる人が増えればいいなと感じる。

## 新たな「陶芸の里」

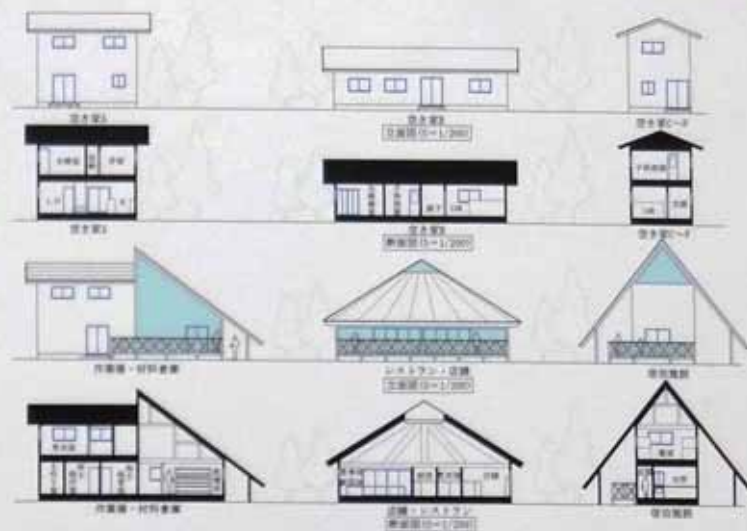
作品を作っていく中で自分の世界に入り集中して作業をしていることは悪いことではない。しかし、他の人と作品を見比べたり違う感性を味わうことでより自分の作品の良さや特徴を知ることができる。都会では今、老若男女を問わず焼き物がブームである。将来は田舎に住みたいと考えている人も多い。そんな人々が時間を気にせず焼き物づくりに没頭できる新しいタイプの「陶芸の里」が生まれる。

## ガラス張りの作業場

作業風景を見学すると同時にその向こうにある木や空も見ることができ開放感を味わえる。見学者だけでなく作業をしている人も自然に囲まれた中で新鮮さがあり、気持ちをリラックスしながら取り組むことができる。

## 自然との一体

作業場、レストラン、宿泊施設の建物に大きなテラスを設けた。室内と室外とをつなぐ重要な空間である。そこで自然を眺めてみたり人との交流を深めてみたりと様々なことに活用ができる。

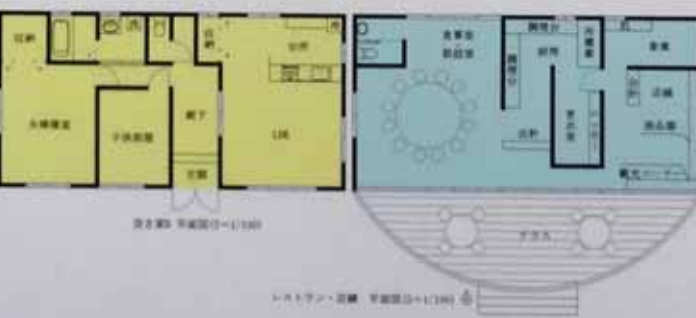


年に1度、自分で作った焼き物の中に入れて大日堂までの道をライトアップするというイベントを提案。

平清水焼きで作られた机という



## レストラン・店舗



## 宿泊施設



建築面積 226.7㎡  
延べ面積 295.4㎡

建築面積 41.11㎡  
延べ面積 41.11㎡

建築面積 41.40㎡  
延べ面積 41.40㎡